

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 4 月 12 日 (2007.4.12)

【公開番号】特開 2005-312688 (P2005-312688A)

【公開日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-044

【出願番号】特願 2004-134593 (P2004-134593)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 1/00 (2006.01)**

**A 6 1 B 1/06 (2006.01)**

**G 0 2 B 23/24 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 0 0 A

A 6 1 B 1/00 3 0 0 B

A 6 1 B 1/06 D

G 0 2 B 23/24 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

細長形状の挿入部と、この挿入部の基端に設けられる操作部とを具備する内視鏡において、

前記挿入部は、前記操作部に対して回動自在に構成されていることを特徴とする内視鏡

。

【請求項 2】

前記操作部に対する前記挿入部の回動し得る回転角度はプラスマイナス (±) 略 90 度以上となるように設定されていることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡。

【請求項 3】

前記挿入部が挿通する挿入部挿入孔と使用者により把持される握り部とを有し、前記挿入部に着脱自在に配設され、使用者によって握り部が把持されたときには、前記挿入部に対して固定されるように形成されるパワーグリップを、さらに具備して構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡。

【請求項 4】

前記パワーグリップは、前記挿入部挿入孔の内径が前記挿入部の外径よりも若干大径となるように形成され、かつ前記挿入部挿入口の内周縁部から放射方向に少なくとも一つのスリットを形成した形態で構成されていることを特徴とする請求項 3 に記載の内視鏡。

【請求項 5】

前記挿入部の外表面上には凸状部または凹状溝部が形成され、

前記凸状部または凹状溝部に嵌合する凹状溝部または凸状部を形成した挿入部挿入孔を備えたパワーグリップをさらに具備して構成されることを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡。

【請求項 6】

細長形状の挿入部と、この挿入部の基端に設けられ操作部を形成する内視鏡本体部と、

この内視鏡本体部に対して着脱自在に接続されるユニバーサルコードと、このユニバーサルコードを介して接続される内視鏡システム構成ユニットとを具備する内視鏡システムにおいて、

前記ユニバーサルコードは、前記内視鏡システム構成ユニットに対して回動自在に接続されるよう構成されていることを特徴とする内視鏡システム。

【請求項 7】

前記ユニバーサルコードと前記内視鏡システム構成ユニットとの間の接続部位に介在し、送気接続部及び送水接続部と吸引接続部と電気接続部とを備えた接続部材を、さらに具備して構成されることを特徴とする請求項 6 に記載の内視鏡システム。

【請求項 8】

前記ユニバーサルコードと前記内視鏡システム構成ユニットとの間の接続部位に介在し、送気及び送水と吸引接続部とを備えた接続部材を、さらに具備して構成されることを特徴とする請求項 6 に記載の内視鏡システム。

【請求項 9】

前記内視鏡システム構成ユニットに対する前記ユニバーサルコード及び前記接続部材の回動し得る回転角度はプラスマイナス（±）略 90 度以上となるように設定されていることを特徴とする請求項 6 に記載の内視鏡システム。

【請求項 10】

前記内視鏡システム構成ユニットは、送気送水吸引ユニットであることを特徴とする請求項 6 から 9 のいずれか一つに記載の内視鏡システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために、本発明による内視鏡は、細長形状の挿入部と、この挿入部の基端に設けられる操作部とを具備する内視鏡において、前記挿入部は、前記操作部に対して回動自在に構成されていることを特徴とする。

また、本発明の内視鏡システムは、細長形状の挿入部と、この挿入部の基端に設けられ操作部を形成する内視鏡本体部と、この内視鏡本体部に対して着脱自在に接続されるユニバーサルコードと、このユニバーサルコードを介して接続される内視鏡システム構成ユニットとを具備する内視鏡システムにおいて、前記ユニバーサルコードは、前記内視鏡システム構成ユニットに対して回動自在に接続されるよう構成されていることを特徴とする。